



Est. 1912

よこ館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



梅雨も明け、いよいよ本格的な夏の訪れを感じる季節となりました。皆さんにおかれても暑さ厳しい日々が続いておりますが、どうぞご自愛ください。

さて、2024年度の決算が先般の評議員会で承認されましたので、ご報告します。今回の決算を一言でいうなら、**増収減益決算**でした。経常活動収入は皆さんの頑張りのもあり、昨年より約 3.8 億増の約 84 億円となっておりますが、諸物価や人件費の高騰により、経常活動支出は昨年より約 5 億円増の約 77.6 億円となりました。その結果、経常活動資金収支差額は昨年より約 1.3 億円少ない約 6.6 億円となりました。これに、借入金の返済や積立金などを差し引いた当期資金収支差額は昨年より約 1.3 億円少ないマイナスの約 2700 万円となりました。

野村監督の有名な言葉に、「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」というものがあります。これは勝利や敗北は偶然ではなく、必ず原因があるということを示唆し、特に敗北の原因を分析し、改善することで、より良い結果を導くことができるという考え方を表しています。2024 年度不調だった施設においては、その原因をしっかりと分析できているのでしょうか？2025 年も第 1 四半期が過ぎました。上半期を制することが、年間目標を達成できると思います。しっかりとした対応策を上半期に集中して行っていきましょう。

2024年度 社会福祉法人 至誠学舎立川 決算収支総括表

事業本部別決算額・総合計

(単位：千円)

	経常活動収入		経常活動支出		経常活動資金 収支差額		当期資金収支 差額	
		増減額		増減額		増減額		増減額
児童事業本部	1,699,220	117,712	1,526,413	169,225	172,807	△ 51,512	16,164	△ 13,336
保育事業本部	3,166,659	168,108	2,774,561	182,935	392,099	△ 14,827	19,091	9,003
高齢事業本部	3,549,230	92,477	3,399,375	157,456	149,855	△ 64,979	△ 69,316	△ 121,329
合 計	8,418,190	376,959	7,762,575	505,483	655,614	△ 128,524	△ 27,282	△ 128,707

法人役員について、2025 年度は新しい理事が 3 名誕生しました。**高橋誠一郎児童事業本部事務局長、稲永裕子代々木至誠こども園園長**、石田周福生市教育委員会教育長（社外理事）の 3 名です。法人本部としても新しい 3 名の理事をお迎えして、引き継ぎの課題である高齢事業本部における財政健全化のさらなる強化と 3 事業本部の安定した運営を推進していきます。

さらに、今年度は「法人中長期基本計画（2015～2025）の最終年度に当たります。この長期計画の策定当初は法人の予算規模は 61 億円でありましたが、この 10 年間で 84 億円の規模まで成長しました。平均すると毎年約 2 億円の伸びを示しています。この財政的推移の中で、特別養護老人ホームの整備、保育園の待機児童対策、障害福祉事業の拡充など、多岐にわたる施策を展開してきました。今年度はこれまでの事業展開を踏まえ、**2026 年度からスタートする 3 か年の中期計画を策定**する予定であります。

最後になりますが、至誠学舎立川は地域に根差し、地域から選ばれ続けるサービスを今年度も展開していきます。地域の発展のために共に頑張っていきましょう。

(法人事務局長 藤原 修)

事業本部情報

児童事業本部

至誠こどもセンター事業の1つである「子育てサロン」は開始して4年半が経ちました。コロナ禍真っ最中にオープンしたサロンは、外出や人との接触を制限された親子さんを細々と受け入れていました。1日1、2組か利用者ゼロの日も多々ありました。それが徐々に利用者は増え、2024年度の月平均利用者は130人になりました。「隠れ家的な」と半ば自虐的な紹介をしていたころとは隔世の感があります。人気のイベントはSNSにアップしたその日に満員になるものもあります。担当スタッフが色々なアイデアを出したり、利用者アンケートをとったり、利用者のニーズに合わせつつも、児童養護施設の地域貢献としての事業であることも忘れずに親子さんに誠実に向き合ってくれています。利用者にはスタッフとの会話を楽しみにされている方々も多く、顔見知りのスタッフの不在を気にかけて下さったりして、スタッフも親子さんからパワーをもらっています。

(至誠こどもセンター所長 島田美喜)

保育事業本部

年長・年中児が東京都農業試験場へ行き、さつま芋の苗植えを行いました。10月には植えた苗から育ったお芋を収穫します。

諏訪の森保育園の西側、裏の畑も豊かな菜園になっています。さて、ここで問題です。この写真の中に何種類の野菜・果物が植えられているでしょうか。ゴーヤ・アスパラ・ナス・ピーマン・トマト・ブルーベリー・じゃが芋・さつま芋…答えは8種類！

園庭にも、ぶどう・梅・ザクロ・夏みかん、さくらんぼ…今年は園庭のブルーベリーも豊作で、子ども達と無事に味わえるまで、ネットが張られました。実体験（水やり・雑草抜き）と共に収穫を心待ちにしたいと思います。

(諏訪の森保育園 玉城 新)



保育園西側の畑

高齢事業本部至誠ホーム

至誠和光ホームと至誠特別養護老人ホームの間には梅の木があります。毎年、至誠和光ホーム利用者に何名かいらっしゃる梅奉行？の、「そろそろ収穫時だ」という合図を参考に日程を決め、6月中に梅の木に実っている青梅を、職員・利用者の皆様とともに収穫しています。

今年は至誠和光ホームと至誠特別養護老人ホームの利用者、旭ホーム長、両施設の職員で収穫を行いました。収穫高は、例年、少ない年でも20キロ以上収穫できます。今年は、49キロ収穫することができましたので、豊作だったと言えるでしょう。

収穫後は、至誠和光ホーム利用者は梅酒を作り、敬老の日やお正月など、9月以降の施設行事では、その梅酒で乾杯をしてから祝膳等食事を楽しむのが恒例となっています。

そして、豊作の今年は梅干しづくりにチャレンジしています。7月の梅雨明け以降の天日干しがうまくできるのか、利用者達も気になって仕方がないようです。

(至誠和光ホーム 園長 中川謙夫)



保育事業本部からのお知らせ

万願寺保育園とあずま保育園で「にこにこ食堂」を始めました！今年3月より、偶数月は万願寺保育園、奇数月はあずま保育園で開催しています。おかげさまで毎回すぐに満員になるほどの人気をいただいています。

「にこにこ食堂」は、子どもだけでなく大人の方もご利用いただけます。地域のみなさまにとって楽しい集いの場となるよう、職員一同心を込めて提供しています。

次号の「まこと館だより」にて、取り組みの詳細をお知らせいたします。ぜひご覧ください！

(編集後記) 今年は梅雨明けが早いのか、すでに30度を超える暑さが続いています。もう外に出るのが難しい季節が来てしまったようで、少し残念な気持ちです。熱中症対策を忘れずに、涼しい場所で楽しむことを見つけたいと思います。(小)